

Microsoft® Windows Server™ 2003 RUR1 (Service Pack 1) インストール手順書

はじめに

本手順書は、Windows Server 2003 RUR1 対応 (Service Pack 1) NEC差分FD (RUR W2K3-001b-N)を正しく適用するための手順書です。

本手順書を**必ず一度お読みのうえ**、Windows Server 2003のインストールおよび「システムのアップデート」を実施した後で、適用してください。

Windows Server 2003 のインストールや「システムのアップデート」は、それぞれの装置に添付のユーザーズガイドを参照し実施してください。

注意

「ユーザーズガイド」は、「EXPRESSBUILDER」CD-ROM に収められている場合もあります。Express5800 シリーズをお買い上げ時に「ユーザーズガイド」が添付されていない場合は、「EXPRESSBUILDER」CD-ROM の中のマスターコントロールメニューから「オンラインドキュメント」を参照してください。

インストールに必要なもの

Windows Server 2003 RUR1 (Service Pack 1) をインストールする前に、以下の媒体と手順書がそろっていることを確認してください。

- **Microsoft® Windows Server™ 2003 Service Pack 1**
(以降、「Windows Server 2003 Service Pack 1」と呼ぶ)
- **Windows Server 2003 RUR1 対応 (Service Pack 1) NEC 差分 FD (RUR W2K3-001b-N) (243-110442-375-B)**
(以降、「Windows Server 2003 RUR1」と呼ぶ)
- **Microsoft® Windows Server™ 2003 RUR1 (Service Pack 1) インストール手順書 (本書) (856-121112-132-C)**

注意事項

ここでは、**Windows Server 2003 RUR1**を正しくインストールするために、インストールを開始する前に知っておかなければならない注意事項について説明します。インストールを開始する前に必ずお読みください。

● ソフトウェアプロダクトについて

ソフトウェアプロダクトによっては、Windows Server 2003 Service Pack 1 環境上での動作が保証されていない場合があります。

Windows Server 2003 Service Pack 1 の適用の際には、ご利用中のソフトウェアプロダクトのご購入元に必ずご確認ください。また、適用くださるようお願いいたします。

なお、NEC から提供しております下記ソフトウェアプロダクトにつきましては、アップデートモジュールの提供または回避策により、Windows Server 2003 Service Pack 1 に対応する予定です。

[2005/05/16 現在]

- ESMPRO/ServerAgent
- StreamPro/ManagementSystem for Windows Ver2.2
- StreamPro/ManagementSystem Ver3.2
- StreamPro/ManagementSystem Basic for WMT Ver1.1
- StreamPro/ManagementSystem Basic for WMT Ver1.2
- SURFNAVIインターネットサーバ Ver2.0
- SURFNAVIイントラ/DMZサーバ Ver2.0
- ExpressMail Ver6.1
- ExpressMail Ver6.0

Windows Server 2003 Service Pack 1 の適用について、注意事項があります。次のURLのサービスパック関連のページを参照してください。

『NEC 8 番街』 <http://nec8.com> [サポート情報] [ダウンロード(Express5800)]

詳細情報、最新情報、およびその他プロダクトに関する情報については、お買い上げのNEC販売店、もしくは最寄りのNECまでお問い合わせください。

● ネットワークドライバ

ネットワークドライバをインストールする前に、Windows Server 2003 Service Pack 1の修正モジュールを適用する必要があります。この修正モジュールを適用せずにネットワークドライバを起動させると、イベントログの参照ができなくなることがあります。

発生条件 : Gigabit Ethernet Controllerを10Mbpsの回線速度で接続したとき

対象装置 : Express5800 シリーズにおける 標準搭載 Gigabit Ethernet
および オプションボードの Gigabit Ethernet ボード

修正モジュールの入手は、弊社ファーストコンタクトセンターまでご連絡ください。

ファーストコンタクトセンター : TEL 03 - 3455 - 5800 受付時間 9:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 17:00 月曜日 ~ 金曜日(祝日を除く)
--

● Windows Server 2003 Service Pack 1 の適用 について

- Express5800シリーズに Windows Server 2003 Service Pack 1 を適用する場合は、必ず本書にしたがって、**Windows Server 2003 RUR1** を使用し適用してください。
また**必ずアプリケーションを終了してから**Windows Server 2003 RUR1を適用してください。

注意

Windows Server 2003 RUR1をサポート対象外の装置に適用すると、以下のメッセージが表示され適用できません。

セットアップメッセージ

Windows Server 2003 RUR1 対応 (Service Pack 1) 差分 FD は、
この装置には対応していません。

- Windows Server 2003 Service Pack 1 は単独で適用しないでください。Windows Server 2003 Service Pack 1 を適用する場合は必ず **Windows Server 2003 RUR1** を使用してください。
- 既にWindows Server 2003 Service Pack 1 が適用されている場合は、Windows Server 2003 Service Pack 1 を再適用する必要はありません。
Windows Server 2003 RUR1 のみ適用してください。手順は本書の「1.Windows Server 2003 RUR1 の適用」手順(5) <Windows Server 2003 RUR1のみを適用する場合>を参照してください。
- Windows Server 2003 RUR1 は、**アンインストール機能はサポート対象外**です。
- **Windows Server 2003 RUR1** 適用前に、システム情報を**バックアップ**することをお勧めします。

<システム情報のバックアップ手順> - “オフライン保守ユーティリティ” サポートの場合 -

システムのセットアップが終了した後、オフライン保守ユーティリティを使って、システム情報をバックアップすることをお勧めします。

システム情報のバックアップがないと、修理後にお客様の装置固有の情報や設定を復旧(リストア)できなくなります。次の手順に従ってバックアップをとってください。

3.5インチフロッピーディスクを用意する。

「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを本体装置のCD-ROMドライブにセットし、再起動する。

EXPRESSBUILDERから起動して「EXPRESSBUILDERトップメニュー」が表示されます。

[ツール] - [オフライン保守ユーティリティ]を選択する。

[システム情報の管理] から[退避]を選択する。

以降は画面に表示されるメッセージに従って処理を進めてください。

<システム情報のバックアップ手順> - “オフライン保守ユーティリティ” 未サポートの場合 -

システムのセットアップが終了した後、EXPRESSBUILDERを使って、システム情報をバックアップすることをお勧めします。

システム情報のバックアップがないと、修理後にお客様の装置固有の情報や設定を復旧(リストア)できなくなります。次の手順に従ってバックアップをとってください。

3.5インチフロッピーディスクを用意する。

「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを本体装置のCD-ROMドライブにセットし、再起動する。

EXPRESSBUILDERから起動して「EXPRESSBUILDERトップメニュー」が表示されます。

[ツール] - [システム情報の管理]を選択する。

[システム情報の管理]から[退避]を選択する。

以降は画面に表示されるメッセージに従って処理を進めてください。

● Windows Server 2003 RUR1適用時の電源・スクリーンセーバに関する設定について

Windows Server 2003 RUR1適用時に以下の設定が有効となっている場合は、処理が中断する場合や正しく適用できない場合があります。各設定を無効(チェックボックスをオフ)などしてからWindows Server 2003 RUR1 を適用してください。

Windows Server 2003 RUR1 適用後に必要に応じて再設定を行ってください。

- ・ スクリーンセーバの設定
- ・ 電源設定 (モニタの電源を切る・ハードディスクの電源を切る)
- ・ 休止状態 (休止状態を有効にする)

● シームレスセットアップについて

シームレスセットアップを利用したWindows Server 2003 RUR1の適用は、**サポート対象外**です。

Windows Server 2003 RUR1 を適用する場合は、シームレスセットアップが終了した後に適用してください。

● システムの構成変更について

システムの構成変更(内蔵オプションの取り付け/取り外し)を行った場合は、本書の[1. Windows Server 2003 RUR1の適用](P.7)を参照しWindows Server 2003 RUR1 を再適用してください。このときサービスパックを再適用する必要はありません。

● ESMPRO/ServerAgentを使用している場合について

- 本モジュールを適用すると、一部の機種においてWDTおよびShutdown監視の設定値がデフォルトの設定値となります。なお、機種によっては本機能がサポートされていない場合があります。
- 本モジュールを適用する前にWDTおよびShutdown監視の現在の設定内容を確認のうえ、適用後に必要に応じて再設定を行ってください。
- 下記を起動することによりWDTおよびShutdown監視の設定内容の確認および設定ができます。

コントロールパネル内にあるESMPRO ServerAgent

- 上記操作の詳細、WDTおよびShutdown監視の詳細に関してはESMPRO/ServerAgent のマニュアル類を参照して下さい。

● DeploymentManager、PatchMeister を使用した Windows Server 2003 Service Pack 1、Windows Server 2003 RUR1の適用について

以下の製品を使ってWindows Server 2003 RUR1の適用が可能です。

- WebSAM DeploymentManager (以降DPM)
- SystemGlobe DeploymentManager (以降DPM)
- ESMPRO/DeploymentManager (以降DPM)
- PatchMeister Ver1.0, Ver1.1 (以降PTM)

DPM、PTMを使用する場合は、本書後述のインストール手順にしたがって**Windows Server 2003 RUR1**を適用してください。

(「4. DPM、PTMを使用したWindows Server 2003 Service Pack 1、Windows Server 2003 RUR1の適用」P.12 参照)

注意

CapsSuite Small Edition PatchMeister Ver1.5 では、サポートしていません。

● SCSI HostRAID/SATA HostRAID/N8103-86(0ch)を利用しているシステムに Windows Server 2003 RUR1を適用する場合について

SCSI HostRAID/SATA HostRAID/N8103-86(0ch)を利用しているシステムに対し、Windows Server 2003 Service Pack 1を適用すると、SCSI HostRAID/SATA HostRAID/N8103-86(0ch)の管理ユーティリティである「Adaptec Storage Manager -Browser Edition」(以降、**ASMBE**と略す)のサービスが起動できない現象が発生する場合があります。

本現象はASMBEのバージョンが古い場合に発生しますので、『NEC 8番街』<http://nec8.com> [サポート情報] [ダウンロード(Express5800)]より、対象システムを選択し、下記タイトルのアップデートをダウンロードし適用してください。以下のURLからでも参照できます。

ダウンロード(Express5800)先 URL :

http://www.express.nec.co.jp/care/download/dload_main.html

公開番号 : 2217000021

タイトル : HostRAID(SATA/SCSI)/N8103-86 ディスクアレイコントローラ(0ch)
管理ユーティリティの最新版リリース

なお、Web上に上記タイトルより最新のASMBEが登録されている場合は、最新のASMBEを適用してください。

● SCSI HostRAID を使用している場合について

<SCSI HostRAID 起動可能なアレイシステムの設定>

SCSI HostRAID ご使用の場合はSCSI HostRAIDのBIOSにて、システムを起動するアレイに対し「起動可能なアレイシステムの設定」が必要になります。

重要 本設定を行わない場合は、障害発生時メモリダンプを採取することができない等の問題が発生します。

システムを起動、または再起動したときに以下のメッセージが表示されたら、<Ctrl>キーと<A>キーを同時に押す。

Press <CTRL>< A> for SCSISelect (TM) Utility!

次に表示されるデバイスマニューで、チャンネルを選択し<Enter>キーを押す。

ヒント

- 必ずアレイが作成されているチャンネルを指定してください。
- 使用されている機種によっては、チャンネルが1つしかないものもあります。

「Configure/View HostRAID Settings」メニューを選択する。

ヒント <Optionsメニューに「Configure/View HostRAID Settings」メニューがない場合>HostRAID の機能が有効になっていません。
そのため、「起動可能なアレイシステムの設定」を行う必要はありません。

メインメニューでアレイを選択し、<Enter>キーを押し、次に**Bootable**を押す。

ヒント [Bootable]のメニューがない本体装置は設定する必要がありませんので、次へ進んでください。

システムを起動するアレイにカーソルを合わせ、Mark Bootableを選択して<Enter>キーを押す。

ヒント Mark Bootable の設定はキーボードのキーを押下することにより設定と解除ができます。

重要 作成したアレイからシステムを起動する場合は、必ず本設定を実施してください。Mark Bootable を選択することにより、SCSI ID の優先順位に関係なく、アレイに起動優先権が与えられます。起動可能なことを示す「B」が、ドライブ ID の横に表示されます。

1 Windows Server 2003 RUR1 の適用

ここでは、Windows Server 2003 RUR1 の適用方法について説明します。

重要 Windows Server 2003 RUR1 を適用する前に、「Microsoft Windows Server 2003 Service Pack 1 の Web サイト」を参照し、お使いのシステムのディスク容量を確認してください。

- (1) 周辺装置、Express5800 シリーズの順に電源を ON にし、Windows Server 2003 を起動してください。

Microsoft 社製 Windows Server 2003 Service Pack 1 CD-ROM をお持ちの場合、
(3) へ進んでください。

- (2) Web サイト等からダウンロードした Windows Server 2003 Service Pack 1 を使用する場合、ご使用のシステムの任意のディレクトリに Windows Server 2003 Service Pack 1 をコピーしてください。

ヒント 任意のディレクトリ名に空白を含む文字を指定しないでください。

- (3) フロッピーディスクドライブに、Windows Server 2003 RUR1 をセットしてください。
- (4) エクスプローラ、コマンドプロンプト等から、Windows Server 2003 RUR1 中の **¥RUR¥update.vbs** を実行してください。
- (5) update.vbs を実行後、「しばらくお待ちください...」というメッセージに続いて、以下のダイアログボックスが表示されます。
メッセージを確認し、[OK]をクリックしてください。
アップデートを中断するには、[キャンセル]をクリックしてください。

Windows Server 2003 RUR1 対応(Service Pack 1)差分 FD の適用を実施します。
作業を中断するなら、[キャンセル]をクリックしてください。継続するなら、[OK]をクリックしてください。途中、画面が数秒間ちらついたり、ファイルの上書きを確認するメッセージが一瞬表示されることがありますが、アップデートは正常に行われます。

【Windows Server 2003 Service Pack 1 が適用されている場合】

以下のメッセージが表示されます。

このシステムには既に Service Pack 1 が適用されています。
Service Pack 1 を再度適用する場合は [はい]をクリックしてください。
NEC 差分モジュールのみ適用する場合は [いいえ]をクリックしてください。
処理を中断する場合は [キャンセル]をクリックしてください。

<再度 Windows Server 2003 Service Pack 1 を適用する場合>

[はい]をクリックし、(6)へ進んでください。

<Windows Server 2003 RUR1 のみを適用する場合>

[いいえ]をクリックし、(10)へ進んでください。

<処理を中断する場合>

[キャンセル]をクリックしてください。

- (6) 以下のメッセージが表示されます。

Service Pack の適用を行います。
Microsoft 社製 CD-ROM Service Pack 1 をお持ちの場合は、SHIFT キーを押しながら Service Pack 1 の CD-ROM をドライブに挿入し、[はい(Y)] をクリックしてください。
CD-ROM の AutoRun 機能が働いた場合には速やかにポップアップされた画面を終了させてください。ハードディスク上に展開された Service Pack1 を適用するなら[いいえ(N)] をクリックしてください。処理を中断する場合は[キャンセル]をクリックしてください。

<Microsoft 社製 Windows Server 2003 Service Pack 1 CD-ROM を使用する場合>

画面指示にしたがって<Shift>キーを押しながら Windows Server 2003 Service Pack 1 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、[はい(Y)]をクリックし、(8)へ進んでください。

<Web サイト等からダウンロードした Windows Server 2003 Service Pack1 を使用する場合>

[いいえ(N)]をクリックし、(7)へ進んでください。

<処理を中断する場合>

[キャンセル]をクリックしてください。

- (7) Windows Server 2003 Service Pack 1をコピーしたディレクトリ名を要求されます。
Windows Server 2003 Service Pack 1をコピーしたディレクトリパスを入力し、[OK]をクリックしてください。

[キャンセル]をクリックすると、(6)に戻ります。

- (8) Windows Server 2003 Service Pack 1のインストールが始まります。
Windows Server 2003 Service Pack 1 セットアップウィザードにしたがってインストールをしてください。

- (9) 以下のメッセージが表示されます。

Windows Server 2003
Service Pack 1 セットアップウィザードの完了。

Service Pack 1 セットアップウィザードを完了しました。
変更を有効にするには、Windows を再起動する必要があります。
:

[完了]をクリックしてください。
ただし、[完了]をクリックしても、システムは再起動しません。

- (10) **Windows Server 2003 RUR1** 内のファイルのコピーが始まります。

- (11) 以下のメッセージが表示されます。

Windows Server 2003 RUR1 対応 (Service Pack 1) 差分 FD の適用を終了しました。
システム中のコンポーネントの変更、または追加を行なったときは、
Windows Server 2003 RUR1 対応 (Service Pack 1)差分 FD の再適用が必要です。
アップデートされたシステムを実行するには、[OK]をクリックしてください。再起動を行います。

- (12) [OK]をクリックしてください。

- (13) システムを再起動します。
フロッピーディスクドライブのアクセスランプが消えてから **Windows Server 2003 RUR1** を抜き取ってください。
Microsoft 社製 Windows Server 2003 Service Pack 1 CD-ROM を使用した場合は、CD-ROM ドライブから CD-ROM を抜き取ってください。

Windows Server 2003 RUR1 の適用は、完了です。
以降はメッセージにしたがって作業を進めてください。

重要 SCSI HostRAID を ご使用の場合は SCSI HostRAID の BIOS にて、システムを起動するアレイに対し「起動可能なアレイシステムの設定」が必要になります。
Windows Server 2003 RUR1 の適用後、「**SCSI HostRAID 起動可能なアレイシステムの設定**」(P. 6)を参照し、設定をしてください。
本設定を行わない場合は、障害発生時メモリダンプを採取することができない等の問題が発生します。

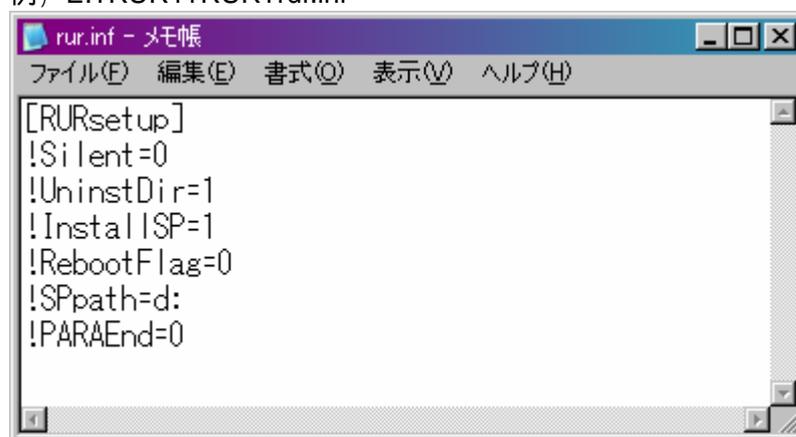
2 サイレントモードでの Windows Server 2003 RUR1 の適用

ここでは、サイレントモードで **Windows Server 2003 RUR1** を適用する方法について説明します。

重要 必ずシステムにログインしてからサイレントモードでの Windows Server 2003 RUR1 の適用を実施してください。
ログインしていないシステムでは、処理が中断する場合があります。

- (1) フロッピーディスクドライブに **Windows Server 2003 RUR1** をセットしてください。
- (2) フロッピーディスク 内のファイルを、任意に作成したローカルのフォルダにコピーします。
ここでは例として「**RUR1**」というフォルダを E ドライブ直下に作成し、そこに FD 内のファイルをすべてコピーします。
- (3) 「**RUR1**」フォルダ内の「**zur.inf**」をメモ帳などで開きます。

例) E:¥RUR1¥RUR¥zur.inf



- (4) 「zur.inf」ファイルを編集し、上書き保存します。

各パラメータの説明

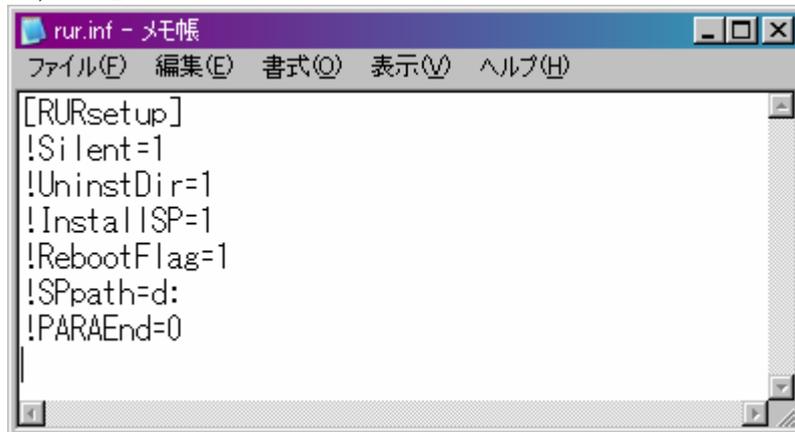
名称	詳細	動作	指定値
!Silent	サイレント動作可否	サイレント実行する	1
		サイレント実行しない	0
!UninstDir	Windows Server 2003 Service Pack 1 のアンインストールディレクトリ作成可否	作成する	1
		作成しない	0
!InstallSP	Windows Server 2003 Service Pack 1 の適用可否	適用する	1
		適用しない	0
!RebootFlag	Windows Server 2003 RUR1 終了時の再起動可否	再起動する	1
		再起動しない	0
!SPpath	Windows Server 2003 Service Pack 1 の格納場所	指定したディレクトリ配下にある Windows Server 2003 Service Pack 1 を適用する	ディレクトリ名
!PARAEnd	パラメータの終端	パラメータの終端	0 で固定

例) 以下の設定で **Windows Server 2003 RUR1** を適用する場合は、次のように設定します。

設定内容:

- ・サイレントモードを実行する
- ・Windows Server 2003 Service Pack 1 を適用する
- ・アンインストールディレクトリを作成する
- ・CD (Dドライブ) の Windows Server 2003 Service Pack1 を使用する
- ・**Windows Server 2003 RUR1** の終了時に再起動する

例) 設定例



```
[RURsetup]
!Silent=1
!UninstDir=1
!InstallSP=1
!RebootFlag=1
!SPpath=d:
!PARAEnd=0
```

- (5) E:¥RUR1¥RUR¥UPDATE.VBS を実行します。

以降は自動で Windows Server 2003 Service Pack 1 と「Windows Server 2003 RUR1」の適用が行われます。なお、設定内容は必要に応じて修正してください。

重要

SCSI HostRAID を ご使用の場合は SCSI HostRAID の BIOS にて、システムを起動するアレイに対し「起動可能なアレイシステムの設定」が必要になります。Windows Server 2003 RUR1 の適用後、「**SCSIHostRAID 起動可能なアレイシステムの設定**」(P.6)を参照し、設定をしてください。本設定を行わない場合は、障害発生時メモリダンプを採取することができない等の問題が発生します。

3 DPM、PTM を使用した Windows Server 2003 Service Pack 1、Windows Server 2003 RUR1 の適用

ここでは DPM、PTM を使用した Windows Server 2003 Service Pack 1、Windows Server 2003 RUR1 の適用方法について説明します。

重要

- OS クリアインストールと Windows Server 2003 RUR1 を一度に適用することはできません。
- リモートアップデートで Windows Server 2003 RUR1 の単独適用を行う場合は DPM2.0 以降をお使いください。



1. Windows Server 2003 Service Pack 1 の登録

Windows Server 2003 Service Pack 1 を DPM または PTM に登録する手順を説明します。

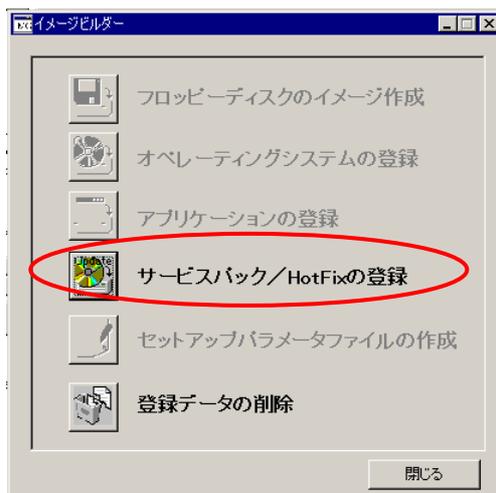
< DPM >

- (1) 「スタート」メニューから「プログラム」「DPM」「イメージビルダー」を選択し、起動したイメージビルダーから「サービスパック/HotFixの登録」をクリックする。



< PTM >

- PTM メインウィンドウの「ツール」「イメージビルダー」を選択し、起動したイメージビルダーから「サービスパック/HotFixの登録」をクリックする。



- (2) 各欄を設定し、[OK]をクリックします。

<DPM>

例) 「Windows Server 2003 Service Pack 1」CD-ROM の場合

<PTM>

例) 「Windows Server 2003 Service Pack 1」CD-ROM の場合

- ・サービスパック/HotFix 名
126 バイト(半角 126 文字、全角 63 文字)以内で入力できます。ただし、「¥」、「;」、「”」は使用できません。
- ・サービスパック/HotFix の選択
ここではサービスパックを選択してください。
- ・コピー元フォルダ
モジュールを格納したフォルダを指定します。
フォルダに格納する場合は同じフォルダ内に
WINDOWSSERVER2003-KB889101-SP1-X86-JPN.EXE 以外のファイルが存在しないようにしてください。

・セットアップコマンド名

コピー元フォルダ: #WINDOWSSERVER2003-KB889101-SP1-X86-JPN.EXE

・コマンドオプション

「/passive /o /norestart」を**指定**してください。

コマンドオプションのそれぞれの意味は以下になります。

「/passive」:

無人モードで更新します。シナリオ実行中にエラーとなった場合はその箇所でシナリオ実行が止まってしまいます。OS インストール中だとタイムアウトするまで Web コンソール上ではシナリオ実行中となります。リモートアップデート中だと Web コンソール上ではシナリオ実行中のままです。

「/o」:

OEM 固有のドライバがインストールされている場合に指定してください。コマンドプロンプトを表示せずに処理を実行します。

「/norestart」:

実行後に再起動を行わないようにするため「/norestart」を指定してください。

ヒント

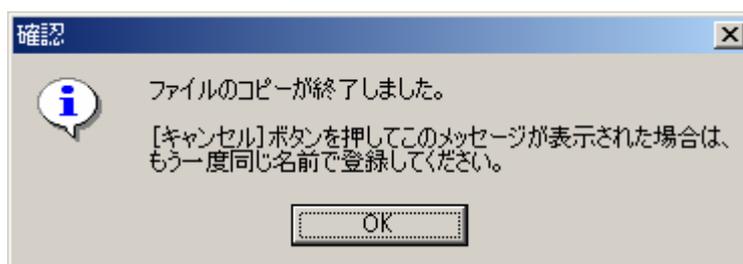
これらのオプションは、サービスパック/HotFix を「/Help」または「- ?」のオプションをつけて実行するか、配布元のホームページ等で調べることができます。また、「/passive」の代わりに「/Quiet」での実行も可能です。運用にあわせて選択してください。

「/Quiet」:

Quiet モードで実行します。シナリオ実行中にエラーとなった場合でもそのまま次へ進みます。そのためエラーが発生しても何も表示されません。また、Web コンソール上でもシナリオ実行エラーとはなりません。

Microsoft から提供されるセキュリティパッチの仕様によっては、実行パスに 2 バイト文字が含まれると処理が正常に行われられない可能性があります。パッチを格納する「コピー元フォルダ名」は 1 バイト文字で作成されることを推奨します。

- (3) ファイルのコピーが始まりますのでしばらくお待ちください。
完了すると確認画面が表示されます。[OK]をクリックしてください。



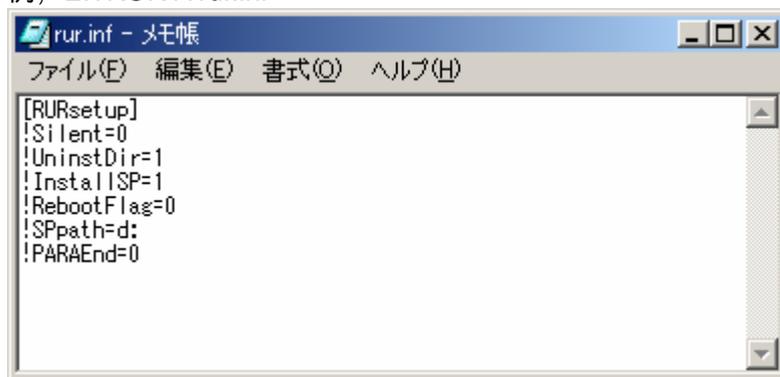
以上で Windows Server 2003 Service Pack 1 登録は完了です。

2. Windows Server 2003 RUR1 のサイレントモード化

DPM で配信可能なサイレントモード形式にする手順を説明します。

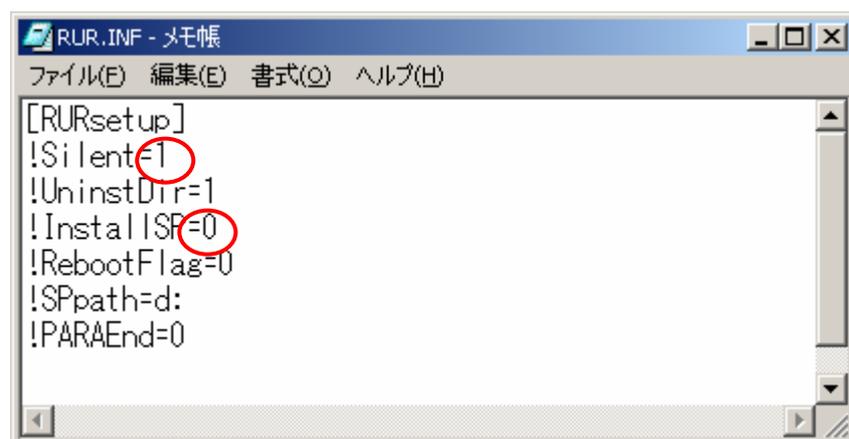
- (1) 「Windows Server 2003 RUR1」をフロッピーディスクドライブにセットします。
- (2) FD 内のファイルを、任意に作成したローカルのフォルダにコピーします。
ここでは例として「RUR1」というフォルダを E ドライブ直下に作成し、そこに FD 内のファイルをすべてコピーします。
- (3) 「RUR1」フォルダ内の「rur.inf」をメモ帳などで開きます。

例) E:\RUR1\rur.inf



- (4) 「rur.inf」ファイルの以下の個所を編集し、上書き保存します。

名称	詳細	動作	指定値
!Silent	サイレント動作可否	サイレント実行する	1
		サイレント実行しない	0
!InstallSP	Windows Server 2003 Service Pack 1 の適用可否	適用する	1
		適用しない	0



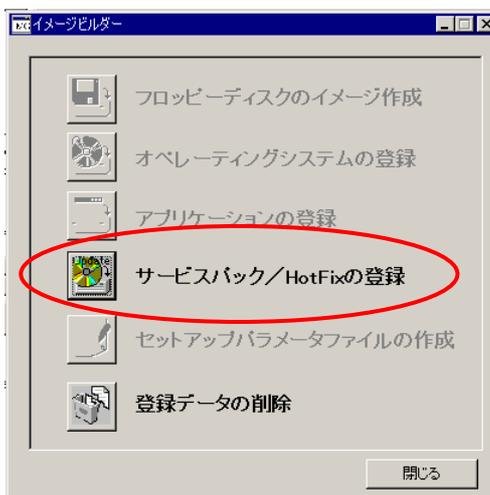
< DPM >

- (5) 「スタート」メニューから「プログラム」「DPM」「イメージビルダー」を選択し、起動したイメージビルダーから「サービスパック/HotFixの登録」をクリックする。



< PTM >

- PTM メインウィンドウの「ツール」「イメージビルダー」を選択し、起動したイメージビルダーから「サービスパック/HotFixの登録」をクリックする。



- (6) 各欄を設定し、[OK]をクリックする。

<DPM>

例) (2)のように「RUR1」フォルダをEドライブに作成した場合

<PTM>

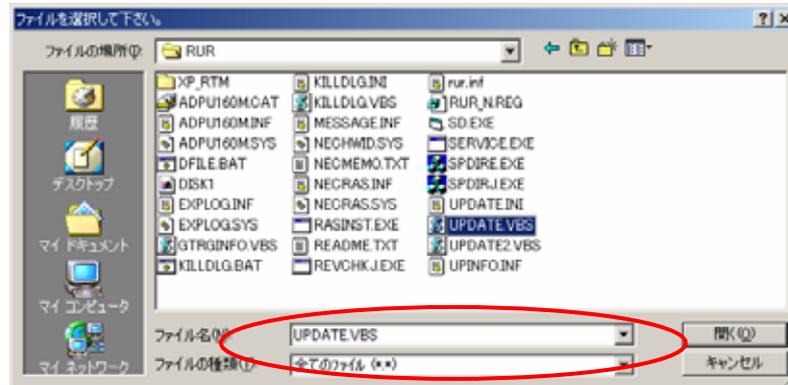
例) (2)のように「RUR1」フォルダをEドライブに作成した場合

- ・ サービスパック/HotFix 名
126 バイト（半角 126 文字、全角 63 文字）以内で入力できます。
ただし、「¥」、「;」、「”」は使用できません。
- ・ サービスパック/HotFix の選択
ここではサービスパックを選択してください。
- ・ コピー元フォルダ
登録する「Windows Server 2003 RUR1」のモジュールが格納されているフォルダを指定します。「参照」をクリックして指定できます。

・セットアップコマンド名

[参照]をクリックして指定できます。

[ファイルの種類]を[全てのファイル]に変更し、登録する[Windows Server 2003 RUR1]のモジュールが格納されているフォルダ内の[UPDATE.VBS]を指定します。



・コマンドオプション

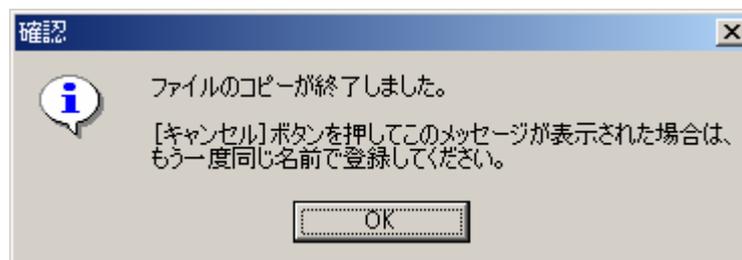
ここでは何も指定せず空欄にしておいてください。

- (7) [OK]をクリックすると、以下の確認画面が表示されます。
[はい]をクリックして処理を実行してください。



ヒント DPM、PTM では、セットアップコマンドとして通常選択できる拡張子に「exe」「bat」「com」「cmd」を指定しています。「VBS」は指定外となるため上記の確認画面が表示されますが、実行に問題はありません。

- (8) ファイルのコピーが始まりますのでしばらくお待ちください。
完了すると確認画面が表示されますので[OK]をクリックしてください。

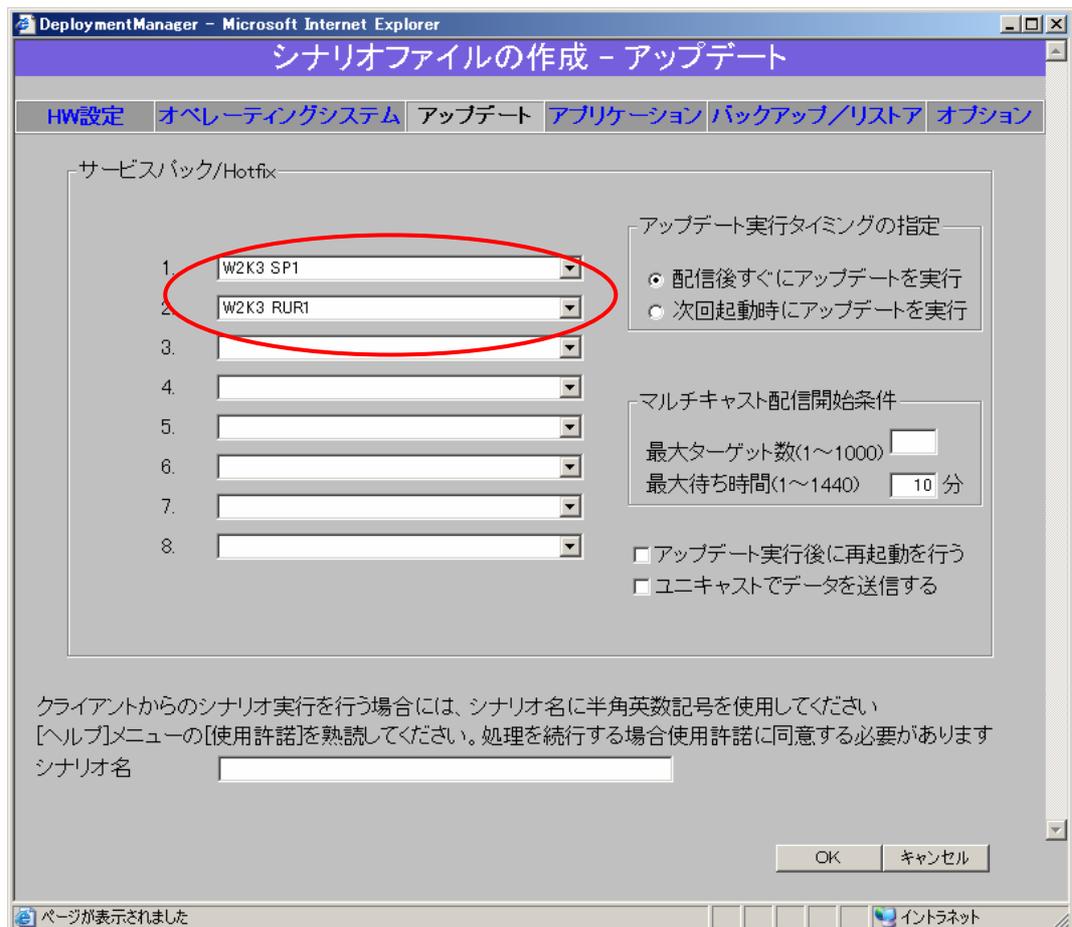


以上で Windows Server 2003 RUR1 のサイレントモード化は完了です。

3. Windows Server 2003 Service Pack 1、Windows Server 2003 RUR1 を適用する

- (1) DPM または PTM を起動します。
- (2) メインウインドウ画面の「シナリオ」メニューから「シナリオファイルの作成」を選択し、シナリオファイル作成画面を表示します。
メインウインドウ画面の  アイコンをクリックしても、同様の操作が可能です。
- (3) 「アップデート」タブをクリックし、プルダウンメニューから 2 と 3 で登録した Windows Server 2003 Service Pack 1 と **Windows Server 2003 RUR1** を選択し、シナリオを作成します。

< DPM >



Deployment Manager - Microsoft Internet Explorer

シナリオファイルの作成 - アップデート

HW設定 | オペレーティングシステム | アップデート | アプリケーション | バックアップ/リストア | オプション

サービスバック/Hotfix

1.	W2K3 SP1
2.	W2K3 RUR1
3.	
4.	
5.	
6.	
7.	
8.	

アップデート実行タイミングの指定

配信後すぐにアップデートを実行
 次回起動時にアップデートを実行

マルチキャスト配信開始条件

最大ターゲット数(1~1000)

最大待ち時間(1~1440) 分

アップデート実行後に再起動を行う
 ユニキャストでデータを送信する

クライアントからのシナリオ実行を行う場合には、シナリオ名に半角英数記号を使用してください
[ヘルプ]メニューの[使用許諾]を熟読してください。処理を続行する場合使用許諾に同意する必要があります

シナリオ名

OK キャンセル

ページが表示されました

<PTM >

シナリオファイルの作成

HW設定 | オペレーティングシステム | **アップデート** | アプリケーション | バックアップ/リストア | オプション

サービスパック/Hotfix

1. W2K3 SP1
2. W2K3 RUR1
3.
4.
5.
6.
7.
8.

配信方法の選択

ユニキャスト
 マルチキャスト

最大ターゲット数(1~1000)
最大待ち時間 (1~1440) 分

アップデート実行後に再起動を行う

[クライアントからのシナリオ実行を行う場合には、シナリオ名に半角英数記号を使用してください。]

シナリオ名: OK キャンセル

注意

- ・イメージファイルが一度に適用されるよう、シナリオを作成してください。
- ・サービスパックの適用後に **Windows Server 2003 RUR1** が実行されるようにしてください。(1～8までのうち、1から順番に実行されます)

(4) (3)で作成したシナリオを対象の装置に割り当て、シナリオを実行します。

以上で Windows Server 2003 Service Pack 1、Windows Server 2003 RUR1 の適用は完了です。

重要

SCSI HostRAID を ご使用の場合は SCSI HostRAID の BIOS にて、システムを起動するアレイに対し「起動可能なアレイシステムの設定」が必要になります。Windows Server 2003 RUR1 の適用後、「**SCSIHostRAID 起動可能なアレイシステムの設定**」(P.6)を参照し、設定をしてください。本設定を行わない場合は、障害発生時メモリダンプを採取することができない等の問題が発生します。

トラブルシューティング

Express5800 シリーズが思うように動作しない場合は修理に出す前に次のチェックリストの内容に
したがって Express5800 シリーズをチェックしてください。
リストにある症状に当てはまる項目があるときは、その後の確認、処理にしてください。
それでも正常に動作しない場合は、ディスプレイ装置の画面に表示されたメッセージを記録してから、
保守サービス会社に連絡してください。



Windows Server 2003 RUR1 適用開始から、終了までに数分間かかる。

Express5800 シリーズに USB-FD を接続し、Windows Server 2003 RUR1
を適用しようとしていませんか？

時間はかかりますが、Windows Server 2003 RUR1 に問題ありません。
そのまま処理が終了するのをお待ちいただくか、お急ぎの場合は以下の
手順で適用してください。

システムドライブ上の任意のフォルダ(C:¥temp)を作成する。

Windows Server 2003 RUR1 のフロッピーディスク内を
作成した任意のフォルダにコピーする。

(C:¥temp)¥RUR¥UPDATE.VBS を実行し、Windows Server
2003 RUR1 を適用する。

以降は、本手順書の「1. Windows Server 2003 RUR1 の適用」
手順(5)を参照してください。